

R7地域こん談会まとめ

案件番号	自治会名	こん談案件	回答内容	回答者	取組状況	取組状況の説明事項
1-1	旭町	○高齢者移動支援事業について 旭町高齢者移動支援事業「旭サポートカー」について、今年7月で4年となり、毎週2日の運行をしており、関係者、利用者の協力で、昨年度は延べ570人が利用、利用登録会員39名、運転者も15名登録されている。 この間の亀岡市からの指導、支援に感謝したい。 今後も、旭町の移動困難な高齢者等が安心して生活のできる、事業としてさらに充実し、旭サポートカー方式で、安全で安定的に事業が継続できるよう続けて支援、指導をお願いしたい。	○旭町自治会におかれましては、令和3年7月6日から自治会が主体となって高齢者移動支援事業「旭サポートカー」の運行を開始され地域住民の協力のもと、高齢者をはじめとする地域住民の日常生活に必要な交通手段を確保し、福祉の向上を図っていただいておりますことに対して改めて感謝を申し上げます。 本市といたしましても、こうした地域主体型交通の取り組みは、「亀岡市地域公共交通計画」に掲げる基本理念の「地域と“ともに支える”持続可能な公共交通」の実現に不可欠なものであり、亀岡市内の先進的なモデル地区として紹介をさせていただいているところであります。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			こうした取り組みを積極的に支援するため、上限額はございますが、車両のリースや購入経費、及び運行経費を支援する補助制度を、今後も継続してまいりたいと考えております。運行開始から4年が経ち、昨年に引き続き、今年度も自家用有償旅客運送に必要な運転者講習も計画いただいておりますので、今後とも持続可能な運行を行っていただくために、桂川・道路交差課を窓口として積極的にお手伝いをさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		【質問等】 ○事業開始から4年が経過したが、利用者が高齢化しており中々自力で動くことが難しくなっている。しかし規約の中で利用者を「自力で動ける方」としており福祉的な支援は想定していないが、利用を断るのは非常に心苦しい状況となっている。来年度に向けて介助の部分の方向性を今年中に決めたく、高齢福祉課から福祉の観点で助言をいただけるとありがたい。	○高齢福祉課と、これまで社会福祉協議会からも支援等をさせていただいているかと思っておりますので、持ち帰らせていただいて高齢福祉課が社会福祉協議会を含めて一緒に検討させていただければと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。	健康福祉部長	②実施予定	介護保険制度の中で、高齢者の生活支援を地域住民が実施するモデル事業を令和8年度に実施予定であり、その中で医療・福祉の専門職が所属する地域包括支援センターと連携することで支援いただけると考えています。
		○これまで亀岡市などから支援をいただいているが、その中で自立した組織運営を求められている。そのためにも、利用者から料金を徴収するといった有償での運行を検討しており、助言等をいただきたい。	○ボランティアという形で始めていただいた事業ではありますが、やはり料金をいただいてドライバーの方へ報酬お支払いできれば事業も継続しやすいと考えております。今後につきましてもご相談をさせていただきながら、自家用有償旅客運送に切り替えていければと考えております。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			市としては、将来的に川東4町や西部地域など地域を広げて、困難な運転手の確保や連絡配送などしっかりとバックアップし行政も役割を担えるようにしていきたいと考えている。	市長 (まちづくり推進部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
1-2	旭町	○京都府の交響プロジェクト申請事業への概算払い額割合増額要望について支援願いたい。	○京都府地域交響プロジェクト交付金は、交付対象経費の2/3を上限として、京都府、公益財団法人京都市町村振興協会それぞれから同額が交付されます。 概算払いについては京都府交付決定額の1/2が上限額であるため、府、振興協会を合算した交付決定額の1/4が概算払いの上限額となっています。 事業の円滑な実施においては、事前の資金確保も重要と考えられますので、概算払いの上限額引き上げについて、京都府へ要望してまいります。	生涯学習部長	④要望	令和9年度予算編成時期に要望する予定です。

R7地域こん談会まとめ

2-1	旭町	<p>通称「荒神河原」の防災について この対策については、亀岡市において下流の排水路を完成していただきたい上流部においても、倒木処理について着手していただいておりますが、今後、予想される大雨等に対応できる、本格的な砂防、治山について、引き続きよろしくをお願いします。</p>	<p>通称「荒神河原(こうじんがわら)」と呼ばれております砂防河川の北谷川につきましては、京都府において平成23年度に課題解決に向けた調査検討が行われ、流末処理の問題については、千歳町小口地区の圃場整備で整備された排水路を経て、平の沢池へ流下させることで、千歳町、馬路町自治会の了承を頂いて令和4年度に水路を設けたところです。 京都府管理箇所につきましては、市道美濃田平野線より上流域である砂防指定地内のみであり、本年度の砂防事業実施箇所は、旭町地内の境川において墓地補償工事と土砂溜工事、千歳町千歳地内の中谷川において引き続き流路工を実施されると聞いております。当該、北谷川についても出来る限り早期に事業着手いただくよう京都府に要望してまいります。</p>	まちづくり推進部長	⑥その他 ④要望	こん談会時の回答のとおりです。
2-2	旭町	<p>通称「谷川」の防災対策について これも引き続き、上流部の砂防、治山について、及び下流の水路の改修について、対策をお願いします。</p>	<p>通称「谷川」上流部から下流にかけて、既設の治山ダムが17基あり、京都府南丹広域振興局において、昨年5月に現地調査を実施し土砂崩れ箇所や治山ダムの土砂堆積状況を確認いただいたところです。 京都府に現在の状況を確認したところ、昨年から大きな状況変化はなく基礎となる岩が露出しているものの、崩壊拡大や土砂流出はなく、治山ダムの土砂堆積部分についても、余裕高があると聞いております。 しかしながら、「谷川」の下流には人家もあり、土砂災害特別警戒区域でもあることから、京都府に対して経過観察の継続と治山施設の増強等により、さらなる防災対策の強化を図れるよう要望を続けてまいります。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
2-3	旭町	<p>旭町のハザードマップにおける、対策について 地域における危険個所の点検について、お願いします。</p>	<p>梅雨期や台風シーズン前に、京都府、亀岡警察署、亀岡消防署などの関係機関や市内の関連部課と協力し、毎年、土砂災害などの災害時に危険が予想される箇所の現状把握を行うとともに、関係機関の防災対策情報を共有し、有事における相互の連携を強化するため、毎年防災パトロールを実施しています。 今年度は、5月8日に令和6年2月に土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域に指定された旭町三俣の急傾斜地を含む合計3箇所の危険箇所について、防災パトロールを行い、現状把握や情報共有を行っております。 また、毎年出水期前に、各自治会長様および自主防災会会長様宛に「出水期における防災対策について」という文書で依頼をさせて頂いており、地元の皆様には危険箇所の点検や把握に努めていただいているところです。 今後も引き続き、関係機関との連携を強化し、地域の防災体制の充実を図るとともに、地元自治会、自主防災会と連携しながら防災、減災対策に努めてまいります。</p>	総務部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。

R7地域こん談会まとめ

3	旭町	<p>印地区における、泰宏農場の臭気について、早急な対応をお願いしたい。 あらゆる手段を検討いただき、解決まで継続して取り組んでいただきたい。</p>	<p>農場の臭気対応としては、府南丹広域振興局、南丹家畜保健衛生所、南丹保健所及び亀岡市のほか、行政区となる南丹市とも連携して、近隣の住環境に配慮した畜産飼養を指導しているところ。昨年の農場に関連する苦情等は、植木のせり出しによる通行の妨げや隣接する畑への糞尿の流出、ガチョウの放し飼いによる近隣畑の農作物被害、カラスによるごみ集積場被害などに対して環境保全指導部会を開催し、情報共有や意見交換を行い、関係機関それぞれの立場において監視・指導を行ってきました。 具体的には、南丹家畜保健衛生所からは、「飼育衛生管理基準」に基づく家畜伝染病の発生予防のため、牧場に対して外部へ汚水が流出することがないように現地指導され、南丹市からは、農場からの排泄物流出及び子牛の脱走に対する苦情等について、農場の責任者に対して改善の申し入れが行われています。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>臭気につきましても、亀岡市が環境パトロールを月2回、3地点で行い、臭気及び周辺環境の状況確認をしているところ。地元印地区からは令和7年3月19日に開催しました環境保全指導部会に区長をはじめ地権者の皆さまに出席いただくとともに、4月12日に開催されました印地区総会に担当課長が出席させていただき経過・対応説明をさせていただきました。今後とも、牧場の畜産環境に係る地域課題に対して関係機関連携のもと、定期的な状況確認と指導体制を強化するなかで、地区の環境改善に努めてまいりたいと考えております。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		<p>【質問等】 ○15年程前からこの問題が続いてるが、改善された点が何も無い。また農場側に申し入れを行っても農場長のみが対応されて上の方に話が通じている様子が無い。毎年、印地区の総会に市から出席いただいて取組結果の報告をしていただいているが改善された実感が無く非常に残念に感じている。</p>	<p>○改善がみられない点については非常に申し訳ないと思っております。亀岡市としては南丹市など関係機関と引き続き連携していくとともに、法的措置が可能か顧問弁護士の相談を含めて検討してまいりたいと考えております。</p>	市長 (産業観光部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。

R7地域こん談会まとめ

4	旭町	<p>有害鳥獣被害について 有害鳥獣による農産物等への被害は毎年増大している。地域の一部で金網柵の設置をしてもらっているが、被害はなかなか減少していない。有害鳥獣の頭数があまりにも多いのではないかとと思われるので、しっかりとした調査と、もっと駆除をお願いしたい。</p>	<p>本市におきましては、猟友会への捕獲・駆除業務委託により、山から集落への有害鳥獣の侵入・定着を防ぐとともに、駆除活動を強化しているところです。猟友会への駆除委託により昨年度市内全域で約800頭のシカ、イノシシを捕獲・駆除したところです。 旭町では、今年度、山階区農家組合が国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、全長975mの金網柵を設置される予定です。現在、令和8年度の金網柵等設置に向けて調整を進めていますので、他の集落におかれましても、地域で防護柵等の設置をご検討の際は、農林振興課までご相談いただければと考えます。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>有害鳥獣対策につきましては、今年度から猟友会と事前調整を図り、1回あたりの有害鳥獣捕獲期間を2週間から3週間へ延ばしました。また、8月8日のお盆前まで、切れ目なく銃又はわなによる計画駆除で、捕獲・駆除体制の強化を図っているところです。 現在水稲の出穂期を迎えることから、地域ぐるみで効果的な対策を講じていただき旭町の地域課題の解決につながるよう総合的な取組を支援してまいります。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>また、サルの出没に関しましては、追い払いを行っていくしかないと考えておりまして、亀岡市におきましては動物用の煙火をお渡しさせていただいて、サルが出没した際に3本使用していただくよう案内をしております。また煙火の使用につきましては、法令上、講習を受けていただく必要がございますので、地域などで講習をいただければと考えております。なお、煙火につきましては6本まで無償、それ以上は費用の2分の1を負担いただく形でお渡しさせていただいております。詳細につきましては、自治会へご案内させていただきますので、よろしくお願いたします。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
		<p>【質問等】 ○地元としては、個体数の削減、山と集落の間に緩衝地帯の設置、鳥獣の棲み処となり得る雑木等の伐採が必要と考えている。また金網柵の設置についても、以前は河川沿いなどに設置をしていたがあまり効果が無く、今回は田んぼを島ごとに囲う形となった。地元でも積極的に取り組んでいきたいと考えているため、亀岡市からも引き続き支援等をいただければ大変ありがたい。</p>	<p>○状況につきましては、お話を伺い理解をさせていただいております。地域ぐるみの取り組みに対しまして、亀岡市としましてもご相談をさせていただきながら支援等をさせていただければと考えておりますので、よろしくお願いたします。</p>	産業観光部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>○鳥獣対策として、河原林町でヒトデを乾燥させて粉末状にしたものを撒くと効果があつたと伺っております。 ○先程、緩衝地帯いわゆるバッファゾーンの話がありましたが、別件で亀岡市で山地酪農を行いたいとの話を伺っておりますので、旭町でもし候補地等がございましたらご紹介いただければと考えております。1haにつき牛1頭で12ha程度を考えておられるようですので、臭いにつきましてもそこまで心配なく、バッファゾーンとして一定の効果があるのではないかと考えております。 ○駆除につきましては現在、猟友会に対しまして1頭につき約2万円程度で駆除をお願いしておりますが、会員の高齢化等の課題も出てきております。鳥獣被害を含めて亀岡市の周辺部では共通した課題があり、亀岡市としましても支援等に取り組んでまいりたいと考えております。</p>	市長 (産業観光部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。

R7地域こん談会まとめ

5	旭町	<p>旭町の住民の高齢化は他地域と同様に、少子化とともに重大な課題となっている。長年地域社会に貢献してきた高齢者が、日々生き生きと生活し、地域に今も貢献しながら健康で活動が継続できるよう、地域福祉を充実するため、各方面からの支援、助成の充実をお願いしたい。</p> <p>有償ボランティアについて、亀岡市からの支援について、早期に実現できるようお願いしたい。</p>	<p>本市では高齢者の社会参加活動を活性化し、介護予防を促進することを目的に「亀岡市いきいき健幸ポイント制度」を実施しています。</p> <p>ボランティア活動をした65歳以上の方と、ボランティアを募集する団体をマッチングして、ボランティア活動された方には、換金可能なポイントをもらっていただくことができる制度です。</p> <p>この制度を活用し、サロン等の運営補助としてボランティア活動いただいた方には、年間6,000円の上限はありますが、ポイントを付与することができますので、ご活用いただければと思います。自治会等が活動受入団体として登録することで活用いただけますので、制度を運営する社会福祉協議会又は高齢福祉課にご相談いただければと思います。</p>	健康福祉部長	①実施	<p>8月21日に亀岡市社会福祉協議会と高齢福祉課で旭町自治会を訪問し、自治会長にいきいき健幸ポイント制度の説明を実施しました。</p>
			<p>また、市内のサロン活動を紹介した冊子を、社会福祉協議会において2年前に作成し自治会にも配布したものではありませんが、本日の資料として配布(部数に限りあり)しておりますので、参考にしていただけたらと思います。なお、今年度、あらためて情報収集し、最新の情報を掲載したものを社会福祉協議会が作成予定ですので、完成次第、配付させていただきます。</p> <p>さらに、昨年度も資料としてお示しましたが、自治会に対して交付する高齢者地域介護予防活動補助金の他にも、高齢者通い場事業では、年間上限130,000円の助成金を活用いただくことができます。また、出前健康講座では、保健師や管理栄養士など専門職を派遣して健康講座を行うことができますので、ご活用いただけたらと思います。</p>	健康福祉部長	⑥その他	<p>市内のサロン活動を紹介する冊子については、令和7年12月に社会福祉協議会において作成し、組回覧により市民に周知を図るとともに、各自治会に訪問する際など必要に応じて配布しています。</p>
		<p>【質問等】</p> <p>○運営スタッフの後継者を育成していくにあたり、世代によって考え方も異なる部分もあり、一定の報酬がなければ人員の確保が難しい現状がある。必要道具等の購入費や講師への報酬に対する支援はあるが、参加者から料金を徴収してスタッフへ支払うということは中々難しい部分があるため、ぜひ支援をお願いしたい。</p> <p>○報酬の具体的な金額等があるわけではないが、交通費程度でもお支払いできれば現時点では考えている。</p>	<p>○スタッフへの報酬を支払うにあたり、対象となる内容の線引き、また亀岡市全地域で取り組むとなると費用面の課題もあって考えております。今ありました交通費程度の支払いも含めて、活動の継続が出来るよう検討してまいりたいと考えております。</p>	市長 (健康福祉部長)	①実施	<p>報酬として充分ではありませんが、いきいき健幸ポイント制度を活用いただくことで、上記のとおり説明しました。</p>

R7地域こん談会まとめ

6	旭町	<p>道路などの整備について</p> <p>川東地域から、亀岡駅北に直接乗り入れられる道路等の整備について早期に完成願いたい。</p> <p>川東地域の南北を縦貫する川東線(府道郷ノ口余部線)は、地域にとって生活道路であるとともに、災害発生時の緊急輸送道路として大変重要な道路です。</p> <p>また、宇津根橋の架け替えにより利便性は向上したが、川東地域から市役所や亀岡駅など亀岡市内に行くには、今もなおJR宇津根踏切を通る狭い旧道路を利用しています。今後、私たちが安全に亀岡市街に行ける、宇津根橋下流右岸道路から直結亀岡駅北に直結する道路の整備を早急に進めてほしい。</p>	<p>宇津根橋から下流の右岸堤防道路については、桂川右岸道路構想の一部であります市道保津宇津根並河線において平成24年度に事業化を行い、現在まで順次拡幅工事を進めてきており、令和3年度に京都府施工による宇津根橋の架け替え工事が完了し、それに合わせて市道についても府道との接続部の工事をを行い、現時点で府道接続部から下流に向け約430m区間の道路整備が完了しております。また、現在も下流に向けて農業水路の付け替えや擁壁、道路排水施設の整備を進めており、令和8年度の全国都市緑化フェアまでに京都・亀岡保津川公園乗入予定箇所までの整備を行う予定であり、今年度を実施する工事で、舗装や防護柵以外の整備を実施する予定としております。</p> <p>また、京都・亀岡保津川公園より下流部分については、公園整備や京都府が実施されている桂川改修事業と連携を図りながら完成に向けて取り組んでまいりたいと考えております。</p>	まちづくり推進部長	②実施予定 ⑥その他	京都・亀岡保津川公園までの工事については令和8年度の全国都市緑化フェアまでに実施予定です。こん談会時の回答のとおりです。
		<p>【質問等】</p> <p>○霞提付近の橋の架け替えが出来ず、南へ向かう道路の工事が出来ないという話を聞いたが、一定の目途があったのか。</p>	<p>○当初の予定では緑花フェアまでに実施をする予定であったが、アコモドキの専門家から様々な意見が出されており進んでいないのが現状となっている。現在、緑花フェアの工事を先行して行っております。亀岡駅に直結する道路につきましては、大変重要であると認識しており、令和8年度以降に取り組んでいきたいと考えております。</p>	市長 (まちづくり推進部長)	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
			<p>○市道認定は行っているため、引き続き事業の実施を進めてまいりたいと考えております。</p>	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会時の回答のとおりです。
その他意見等		<p>○印地区のバス停前の市道について、道路脇のサザンカが道路に越境にきているので越境部分の伐採をしていただきたい。</p>	<p>○管理が出来ていない可能性があるため、現場確認をさせていただき対応してまいりたいと考えております。</p>	まちづくり推進部長	③検討	こん談会時の回答のとおりです。
その他意見等		<p>○以前から伐採を進めていただいているが、川東線(府道郷ノ口余部線)のポプラの木が数本残っているのと、切り株で歩道が狭くなっているため、除去をしていただきたい。</p>	<p>○伐採については引き続き進めていただき、切り株についても予算化を行って公共事業として実施してまいりたいと考えております。</p>	市長 (まちづくり推進部長)	②実施予定	年度内完成で実施予定しております。